

入学時期：	11月生	学科：	上級行政科	コース：	21ヶ月	クラス	－
科目名：	地理・歴史(地理・日本史・歴史)					年次：	2年次
担当者：	田縁 美穂	単位：	6単位	授業時間：	90時間		

■授業概要・方法等

テキストを用いて講義形式で授業を行う。学生は単元終了ごとに各自で過去問題集に取り組み、その単元の問題を正しく解答できるようにする。また単元ごとに実施する小テスト（公務員試験と同形式）や誤答のやり直しのレポート、総合演習を通じて理解度を確認する。

■学習・教育目標及び到達目標

地理・歴史ともに、1年次に学習した内容を総復習し、より理解と知識を確実にする。とくに2年次では、東ヨーロッパ、西アジア地域の学習の際に、世界史で学習した中東戦争やイラン=イラク戦争、戦後の東欧諸国の内容を意識的に取り入れ、総合的に地理・歴史を理解する力を習得する。2年次の日本史では、学習した内容を政治史、文化史、外交史、教育史などの視点から整理し、総合問題に対応できる力を身につける。2年次の世界史では、戦後史や中国史、イスラム史、インド史などの学習内容を意識的に地理や日本史とも結びつけ、知識をより確実にする。

これらの学習を通じ、公務員試験大卒程度の地理・歴史の幅広い問題を正答できるようになる。

■成績評価方法および基準

地理	35%（小テストの総合点数 50%，やり直しレポート提出 50%）
日本史	30%（小テストの総合点数 50%，やり直しレポート提出 50%）
世界史	35%（小テストの総合点数 50%，やり直しレポート提出 50%）

合否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100～80	79～60	59～40	39～0

■教科書

【地理】

- 『地理テーマ別テキスト』（本校独自）
- 『上級地理 各国・地域別テキスト』（本校独自）
- 『上級地理 過去問題集・解答解説』（本校独自）
- 『地理統計要覧 最新版』（二宮書店）

【日本史】

- 『上級日本史テキスト』（本校独自）
- 『上級日本史過去問題集・解答解説』（本校独自）
- 『上級日本史 本日の復習』（本校独自）

【世界史】

『上級世界史テキスト』（本校独自）

『上級世界史過去問題集・解答解説』（本校独自）

『上級世界史 本日の復習』（本校独自）

■授業計画の内容

時間割上の科目名:【地理】

(11-3月 15時間)

時 数	内 容
1 ~ 3	ガイダンス, 気候の特色とグラフ, 植生と土壌
4 ~ 6	ラテンアメリカの国々
7 ~ 8	東アジアの国々
9 ~ 11	東南アジア・南アジアの国々
12 ~ 15	ヨーロッパの国々

(4-7月 15時間)

時 数	内 容
16	オセアニアの国々
17 ~ 18	アフリカの国々
19 ~ 21	西アジアの国々と中東戦争 (世界史の内容と一緒に講義)
22 ~ 23	アングロアメリカの国々
24 ~ 25	地形 (扇状地, 三角州, フィヨルド, リアス式海岸など)
26	CIS の国々
27	世界と日本の水産業, 海流
28	日本の地形, 農業, 農産物生産上位など
29	世界と日本の貿易
30	地図の図法と特徴

時間割上の科目名:【日本史】

(11-3月 15時間)

時 数	内 容
1	ガイダンス, 江戸時代 (幕府成立と統制策)
2 ~ 3	江戸時代 (初期の外交, 文治政治への転換, 元禄の治, 産業・経済など)
4 ~ 5	江戸時代 (正徳の治, 三大改革)
6	江戸時代 (列強の接近, 開国, 幕末の動乱)
7 ~ 8	明治時代 (新政府の政策)
9 ~ 10	明治時代 (自由民権運動, 外交と条約改正)
11	明治時代 (日清・日露戦争, 産業革命, 桂園時代)

12	大正時代（第1次世界大戦，国際協調時代，戦後恐慌）
13	昭和時代（金融恐慌，満州事変，日中戦争，第2次世界大戦）
14 ~ 15	政党政治の変遷

(4-7月 15時間)

時数	内容
16 ~ 17	戦後の日本（五大改革，歴代内閣と政策・外交，戦後の経済）
18 ~ 19	古代～白鳳時代（飛鳥時代，律令政治の成立，文化）
20	奈良時代（律令政治の崩壊，鎮護国家思想，文化など）
21 ~ 23	平安時代（律令政治の再建，摂関政治，院政，平氏政権，文化など）
24 ~ 25	鎌倉時代（武家政権の成立，執権政治の展開）
26	鎌倉時代（産業・経済，元寇，幕府滅亡，文化，鎌倉新仏教など）
27 ~ 28	室町時代（建武の親政，南北朝動乱，室町幕府の成立，政策，外交など）
29	室町時代（産業・経済，土一揆の発生，応仁の乱，文化など）
30	戦国時代，織豊政権（政策，外交，文化など）

時間割上の科目名:【世界史】

(11-3月 15時間)

時数	内容
1	ガイダンス，中世までのヨーロッパ社会
2 ~ 4	近代国家の幕開け（十字軍，ルネサンス，大航海時代，宗教改革）
5 ~ 6	絶対王政期の各国の特徴（スペイン，イギリス，フランス，ドイツ，ロシア）
7	イギリスの市民革命，英仏植民地戦争
8	イギリスの産業革命と19世紀の自由主義
9 ~ 10	各国の帝国主義（イギリス，フランス，ドイツ，ロシア，アメリカ）
11	第1次世界大戦と戦後処理，国際協調時代，
12	世界恐慌と各国の対策
13	ファシズムの台頭，第2次世界大戦の勃発と終結
14 ~ 15	アメリカ史（独立戦争と19世紀の発展）

(4-7月 15時間)

時数	内容
16 ~ 17	戦後の社会（アジア各国の独立について）
18 ~ 19	戦後の社会（冷戦構造の確立と，戦後の米ソの動き）
20 ~ 22	中国史（古代～唐王朝）
23 ~ 25	中国史（宋～明王朝）
26 ~ 27	中国史（清王朝～辛亥革命）
28	中国史（国民党と共産党との対立，戦後の中国社会）

29

フランス史（フランス革命、ナポレオンの帝政、ウィーン体制）

30

ドイツ史（ドイツ帝国の成立と滅亡）、イタリア史（19世紀の統一運動）

■履修にあたっての注意事項

予習は必要ありません。復習をしっかりと行い、授業の進行に合わせて過去問題に取り組み、ポイントを掴みましょう。

■その他